

新型コロナ禍、「オーラルヘルスケア」人気上昇

新型コロナ禍で“オーラルヘルスケア”への関心が一層高まっています。

「健康産業新聞」が化粧品受託企業に実施した調査では、今年上期の人気受注アイテムで、歯磨き剤およびマウスウォッシュの受注が上位にランクインしました。

主に**口から侵入してくる細菌やウイルスの防御、マスク常用に伴う口臭ケア対策**として需要が拡大しているもようです。

近年の研究では、虫歯と歯周病の口腔2大疾患が糖尿病や心疾患、がん、アルツハイマー病など全身疾患にも関与していることが徐々に解明され、また老化に伴う口腔の虚弱性「オーラルフレイル」対策も求められています。



◆口腔内の悪玉菌、認知症にまで関与

口腔内の常在菌のバランスが乱れ、虫歯菌や歯周病菌などの悪玉菌が優勢になることで、口腔内に留まらず**全身の健康に対しても悪影響を及ぼす**ことが近年の研究で明らかにされています。なかでも細菌の塊である「プラーク」や舌表面に付着する「舌苔」を放置することで、歯周ポケットにプラークが溜まり、歯茎が炎症して溝が深くなり歯周病となります。

専門家への取材から、口腔内の乱れが全身疾患に繋がる一例を挙げると、歯周病菌が作り出すタンパク分解酵素が、口腔内の粘膜を破壊してウイルスや細菌の侵入を許し、ウイルス性・細菌性疾患の重症化の危険性が高まり、さらに**歯周病菌が血液に入り込み、全身を巡ることで糖尿病や動脈硬化、心筋梗塞をはじめ、アルツハイマー型認知症の原因物質とされるアミロイドβを増やすことも**明らかにされています。



◆「唾液ケア」に注目

オーラルヘルスケアには毎日の歯磨きや舌苔の除去が重要ですが、神奈川歯科大学副学長の槻木恵一教授は、“唾液ケア”を推奨しています。

唾液は食物の消化、摂食嚥下や発声のサポート、歯の再石灰化を促す、口腔内粘膜の保護や修復、口腔内の自浄作用など様々な役割を担っています。唾液中には、口腔内の健康維持に有用な成分が含まれ、なかでも免疫抗体のIgAは、口から侵入してくる細菌やウイルスなどの病原体から生体を防御して、感染症の予防や全身の健康維持に重要な役割を果たします。

一方で、唾液はストレス過多の環境下や、加齢によっても分泌量が減少します。

加齢に伴う唾液量の減少は、「オーラルフレイル」の指標のひとつにもなっていて、早い段階からのケアが重要とされています。

「健康産業新聞」(2021年7月21日)より引用



口内環境をサポートする 「オーラケア」

- オーラケアは特許成分「オーラバリア」を配合し、唾液が本来持っているバリア機能により口内環境を良好に保つことが期待されます。
- 口臭が気になるとき、口が乾いたときなどに、外出先でもかまらずになめるだけで手軽に口腔ケアができるタブレットです。
- キシリトール配合のやさしい“ゆずミント味”。
- 1日2～3粒を目安に、1回1粒程度をかまらずにゆっくり舐めてお召し上がりください。

※1袋20粒入 税込1,296円 税別1,200円 ご注文は1箱(10袋)単位

このFAX通信は、研修用資料のため、店頭ではご利用になれません。